

第23回ひろしまアビリンピック

製品パッキング 競技課題

1. 課題

競技課題1 緩衝材の組立・結束【15セット（3束）／20分】

競技課題2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包【2梱包（2箱）／30分】

※競技課題2で使用する緩衝材（完成品）は、大会主催者で準備します。

2. 禁止事項

- (1) 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
- (2) 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- (3) 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- (4) 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
- (5) 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- (6) 原則として、本競技課題の8、9に示すもの以外の機器を使用してはならない。
- (7) 競技中に、材料、用具類の貸し借りを行ってはならない。
- (8) その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為はしてはならない。

3. 実施内容及び実施手順

- (1) 競技課題ごとに競技の説明を行います。その後競技を始めます。
- (2) 各競技は、詳細説明図のとおりです。

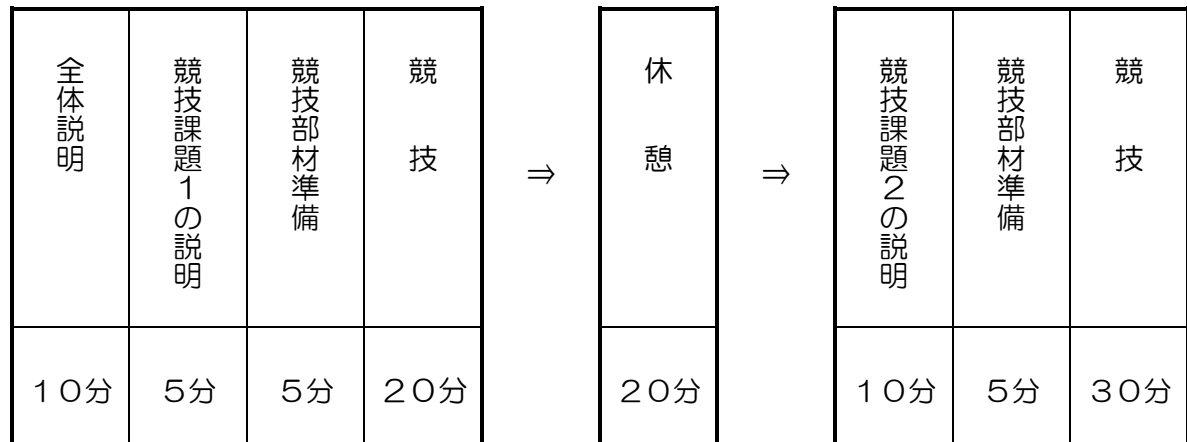
※詳細説明図は折り方の一例です。ほかの折り方や手順でも品質に悪影響が出る方法でなければ審査減点対象になりません。

4. 注意点

- (1) 競技の際は、必ず手袋※を着用してください（ケガ防止のため）。
※手袋は、予備用を含めて各自で準備してください。

5. 実施時間

≪競技の流れ≫



→ 競技の流れ

※競技当日の練習は行いません。

- (1) 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行います。
- (2) 競技者は、規定時間よりも早く競技が終了した場合は、拳手または「終わりました」と申告してください。

6. 競技審査のポイント

競技は早さと作業の正確さ及び製品の品質により審査する。

競技課題1 緩衝材の組立・結束

- ①規定された数量を時間内で作成できたか。
- ②製品の向きは正しいか。
 - ※○（丸穴）・□（四角穴）の向きが外側になっているか。
 - ※端の製品が向かい合わせになっているか。
 - ※○（丸穴）・□（四角穴）が5個ずつ混合せずに同一方向に揃えているか。
- ③正しく結束されているか。
 - ※8cm以内の結び目で、容易に解く事ができる結び方か。
 - ※緩衝材の端から10cm以内の位置に結束されているか。
 - ※紐を持ち上げたとき、紐と製品の間隔が5cm以内か。
- ④外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹みなどが無いか。不十分な折り目、余分な折り目はないか。
- ⑤終了時、結束紐のくず等、ごみが作業机の上や床に落ちていないか。

競技課題2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

- ①規定された数量を時間内で作成できたか。
- ②緩衝材・小箱・中箱・化粧箱の組み入れの向き・数量は課題通りか。
 - ※緩衝材の○（丸穴）・□（四角穴）の向きが外側に設置されているか。
 - ※緩衝材A・Bそれぞれ2個ずつ設置されているか。
 - ※化粧箱の向きが緩衝材A側に縦置き、緩衝材B側に横置きされているか。
 - ※化粧箱に入っている状態で中箱の蓋が上になっているか。
 - ※中箱を開けた時に、小箱の底部が見えないか。
- ③包装テープの止め方はきれいか。課題通りか。
- ④各箱の外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹みなどが無いか。不十分な折り目、余分な折り目はないか。
- ⑤終了時、型抜きのかくず等、ごみが作業机の上や床に落ちていないか。

7. 競技レイアウト

- 机は計3台使用し下図のように設置（参加選手数により台数が増える場合があります。）
※机のサイズ：（幅）150cm×（奥行）60cm×（高さ）70cm
 - 材料は机の上に準備します。競技部材準備の時間に選手自らが各部材のレイアウトを決め設置してください。
- その際、競技課題2で使用する外箱のみ机に立てかけても良いが、他の材料は机の上に限定する。



8. 会場に準備されているもの（選手1人当たりの支給材料）

	材料名	数量	単位	備考
競技用材料	外箱	2	枚	
	小箱	8	枚	
	中箱	8	枚	
	化粧箱 身	8	枚	
	化粧箱 蓋	8	枚	
	緩衝材A	15	枚	
	緩衝材B	15	枚	
	資材	結束紐	1	巻
くちばし型カッター		1	本	開梱用カッター
包装用テープ		1	巻	48mm 幅 テープカッター付き
その他	ゴミ箱（段ボール）	1	個	

9. 選手が持参するもの

品名	数量	単位	備考
手袋	2	双	破れた場合を考慮し、予備分と併せて計2双を各自で準備すること
作業着	1	着	作業に適したものを各自準備
飲料	必要量		適宜熱中症対策を行うこと

10. 注意事項

①服装について

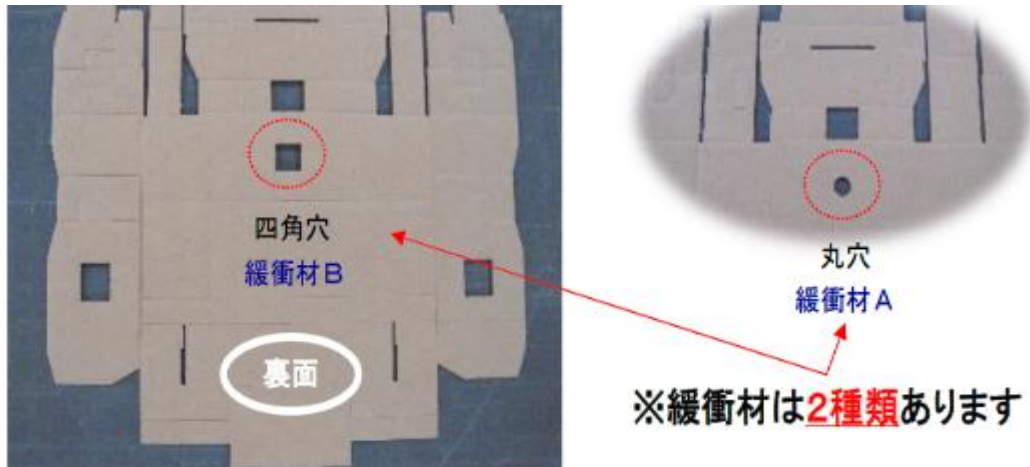
- 作業着または運動着が望ましい。
スカートやフリルが付いているもの、短パンやスリッパ、サンダルなど作業に適さない服装は避けてください。指輪やピアスなどの装飾品も避けてください。
- 手袋の素材等の指定はありません。使いやすいものを持参してください。

②その他

- 熱中症対策として飲料を必ず準備してください。

【競技課題1】 緩衝材の組立・結束

展開図



※段ボールの筋、凹んだ折れ線がある方が裏面（内側）になります

完成図



組立完成図



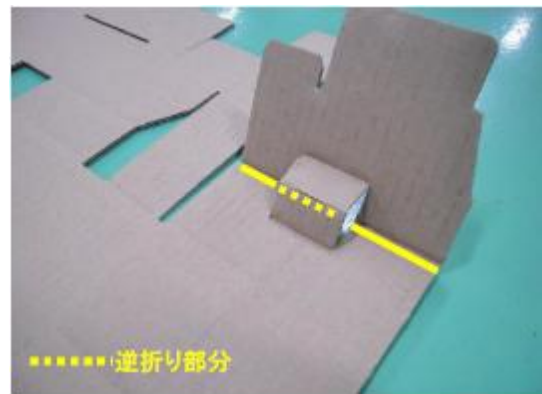
結束完成図

1. 緩衝材は2種類ありますが、基本的な折り方は同じです。(写真は緩衝材B)

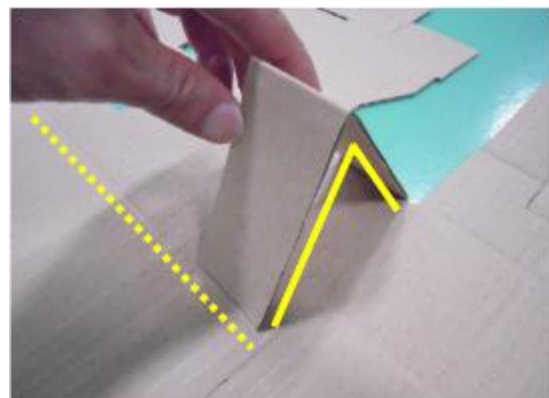
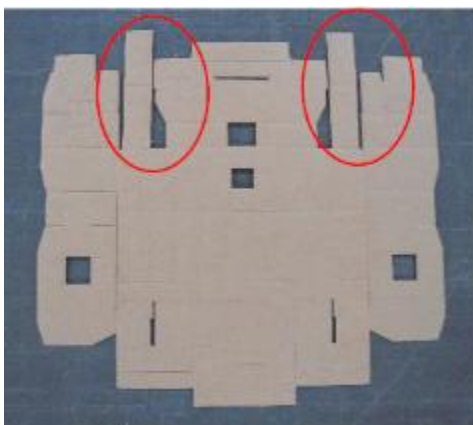
緩衝材の裏面を上にして折ります。
最初に○印部分の箇所から折ります。



2. 本体の袖部分2ヶ所に折り目を付けます。



3. ○印部分を点線部分の罫線に合わせ折り込み三角をつくります。



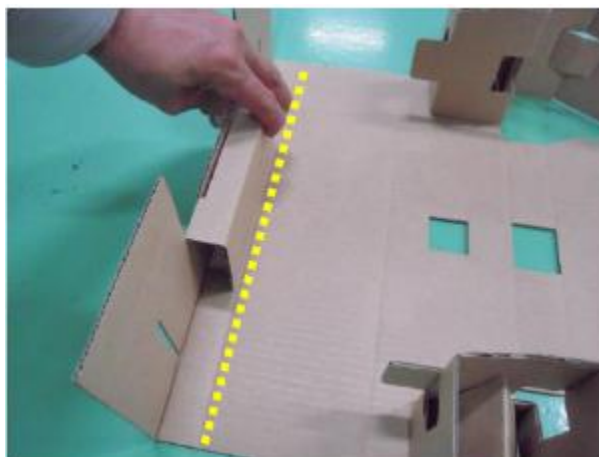
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込みます。



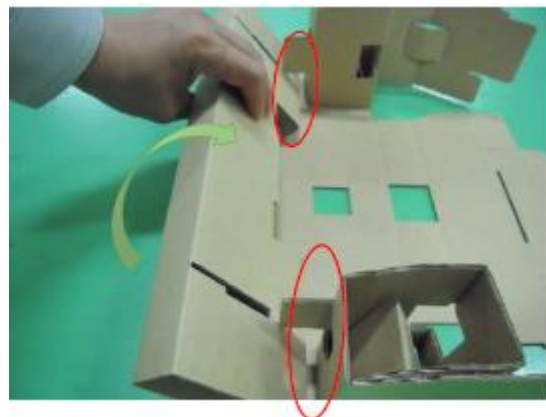
5. ○印部分を折ります。



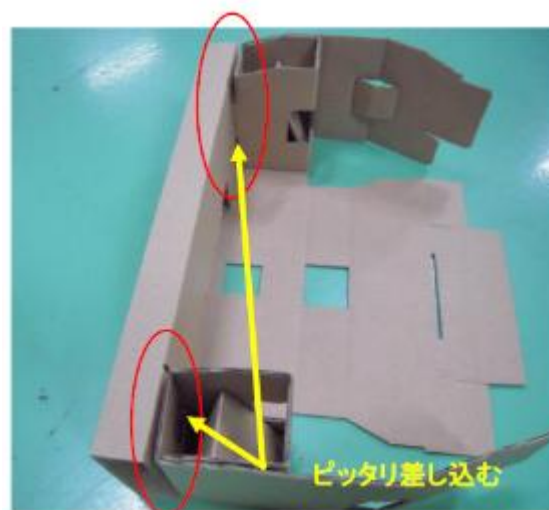
6. 中心部を点線部の罫線に合わせて折ります。



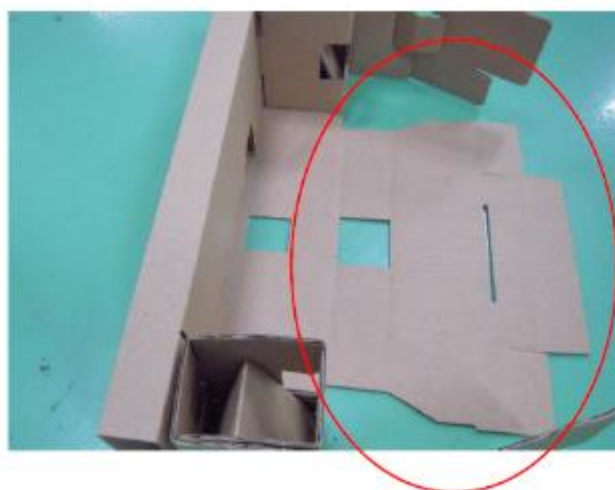
7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に立ち上げながら折り込みます。



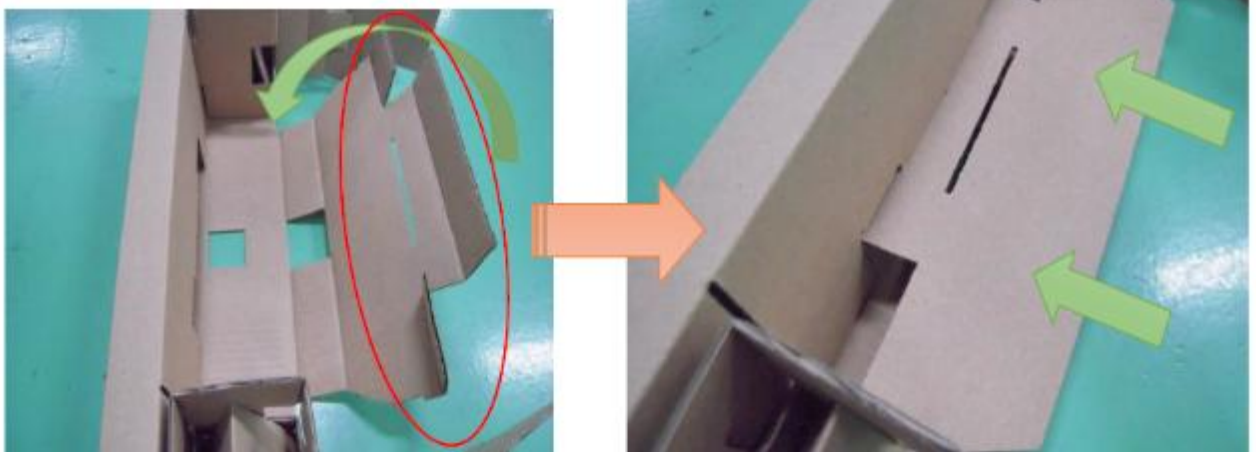
8. ○印部分の穴に袖の凸部分を差し込みながら全体を立ち上げ折り込みます。



9. ○印部分を折ります。



10. 先端部3箇所を折りながら矢印方向に折り込みます。



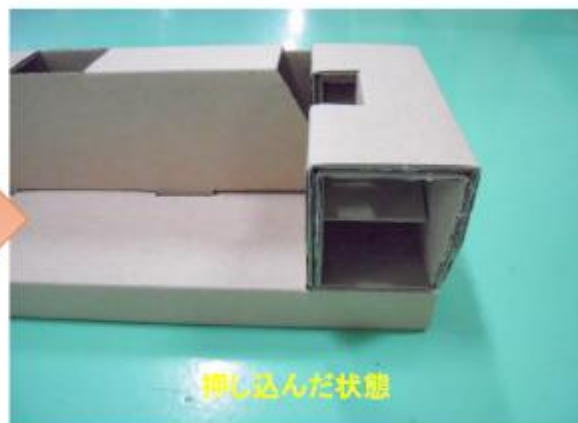
11. 全体を折りこみ、本体にピッタリと押し込みます。



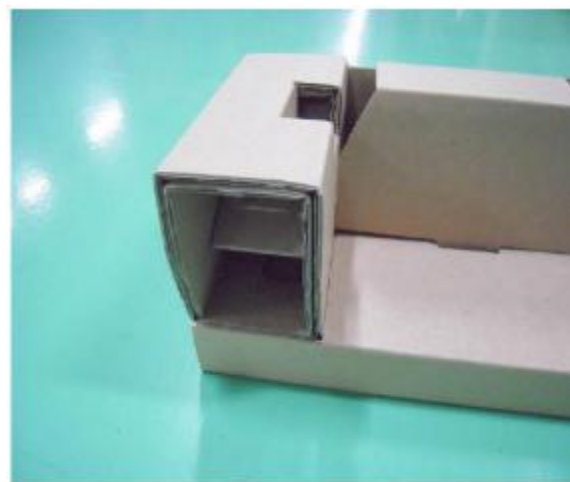
12. 袖部分が上にくるように向きを変えます。



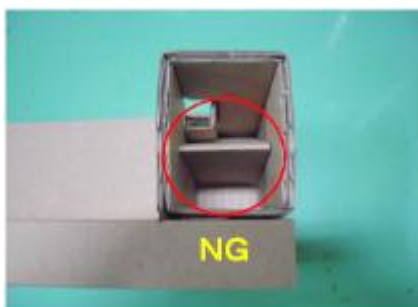
1 3. 袖部分を罫線に合わせて折り込み、先端部分を本体に差し込みます。



1 4. 反対側も同様に、本体に差し込みます。



1 5. はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認して完成です。
これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ5個ずつ完成させます。

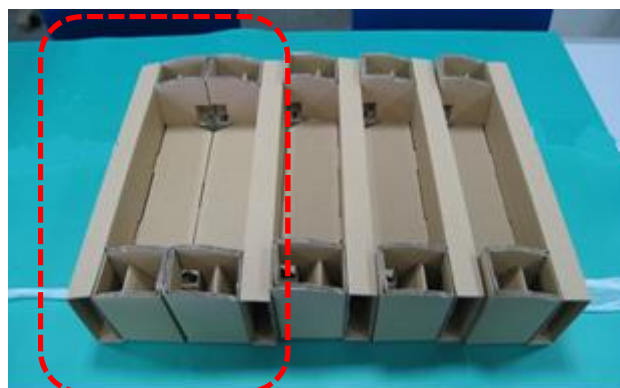


16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置きます。



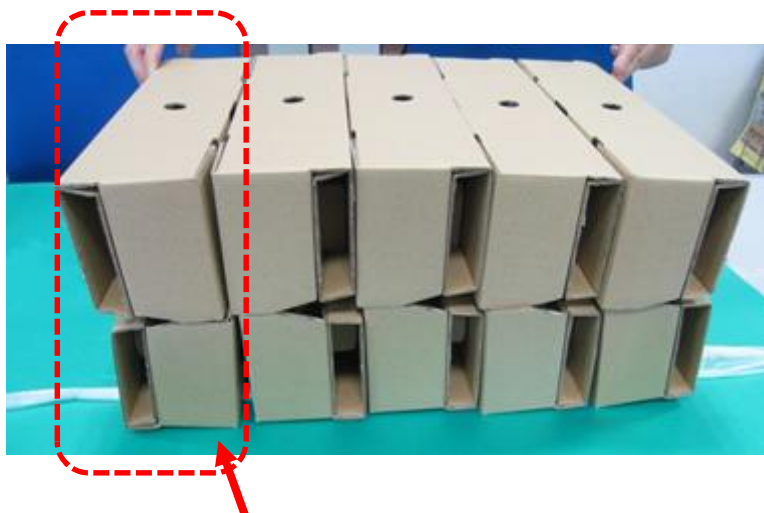
結束紐

17. 設置した結束紐の上に緩衝材B 5個を、結束紐が端側位置にくるように置きます。
置く際は、四角穴が下にくるように置きます。



注) 1つだけ向きが違うので注意

18. 17で置いた緩衝材Bの上に緩衝材Aを5個、丸穴が上にくるように置きます。



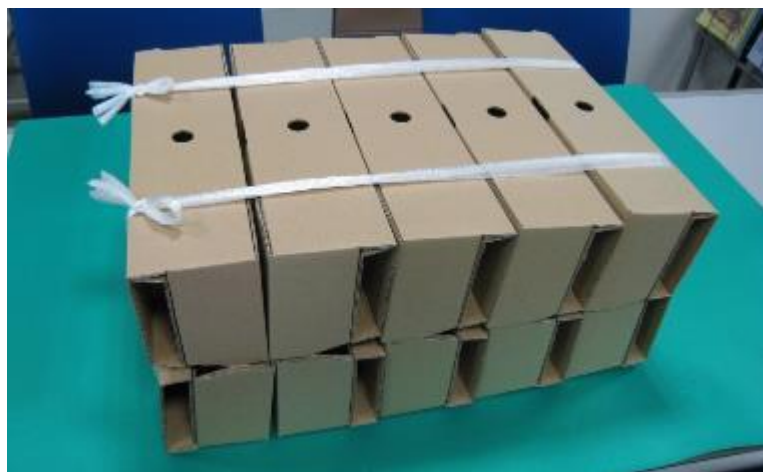
注) 1つだけ向きが違うので注意

19. 緩衝材の端から10cm以内の角で結束します。結び方は自由ですが、容易に解く事が可能な結び方にします。結び目部分の紐は、8cm以内になるようにし、長い場合ははさみで切ります。

また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の間隔が5cm以内になるようにします。

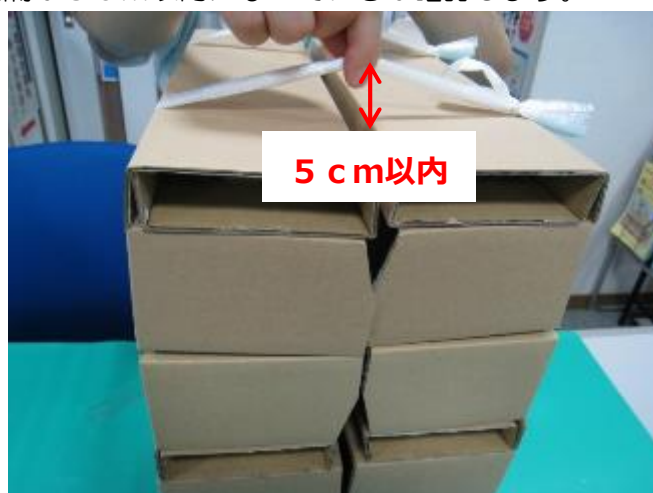


20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の端から10cm以内のところを通し、箱の角で結束して完成です。



※例として横に置いた状態で結束方法を紹介していますが、縦に置いた状態での結束でもOKです。

21. 紐を持ち上げたとき、製品と紐の間隔が5cm以内になっているか確認します。



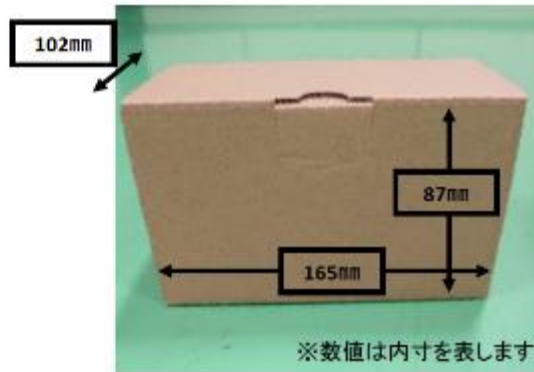
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（1）

こ ば てん かい す
小箱展開図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

こ ば かん せい す
小箱完成図



※数値は内寸を表します

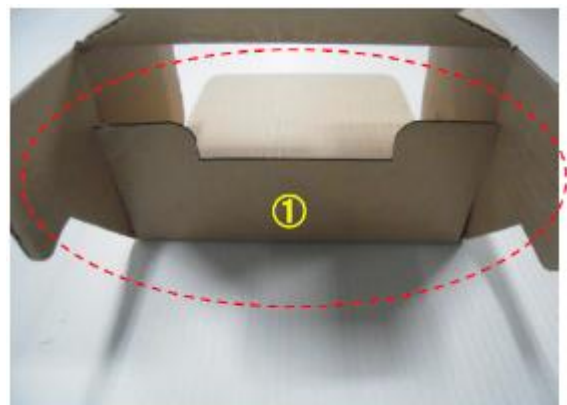
※ロック部分が追加になりました

1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げます。



本体を立ち上げた状態

2. ①の蓋側底フラップを内側に折ります。



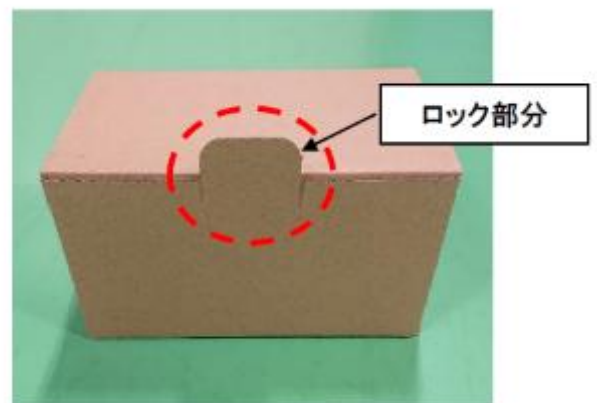
3. ②のフラップ2ヶ所を内側に折ります。



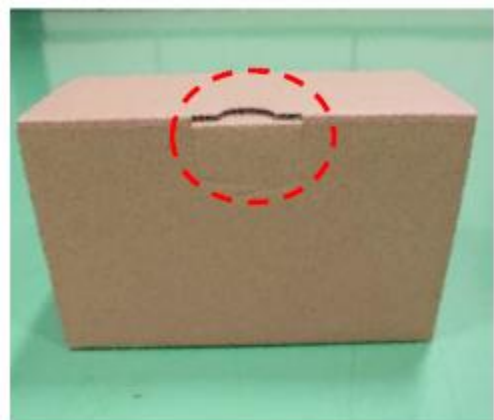
4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。



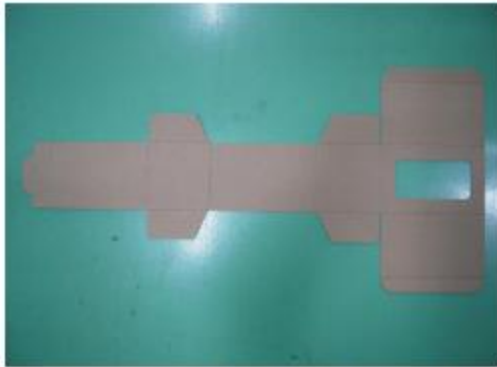
5. 蓋部の内フラップ2ヶ所を内側に折り蓋をします。



6. 最後にロック部分を挿入し完成です。



なか ばこ てん かい す
中 箱 展 開 図

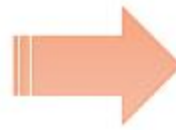
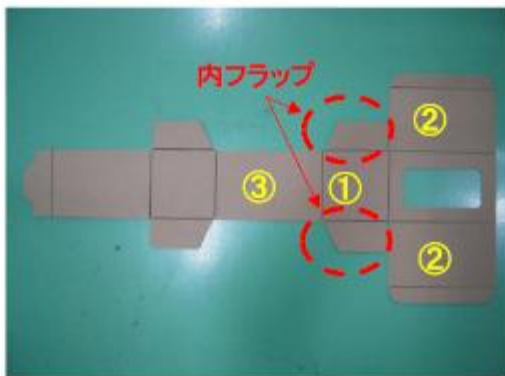


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

なか ばこ かん せい す
中 箱 完 成 図



7. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折り、その後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折ります。



8. ③の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、③の部分を下に向きを変えます。



9. 中箱の中に小箱を写真のように入れます。

中箱の穴から小箱の底が見えないように小箱の向きに注意してください。



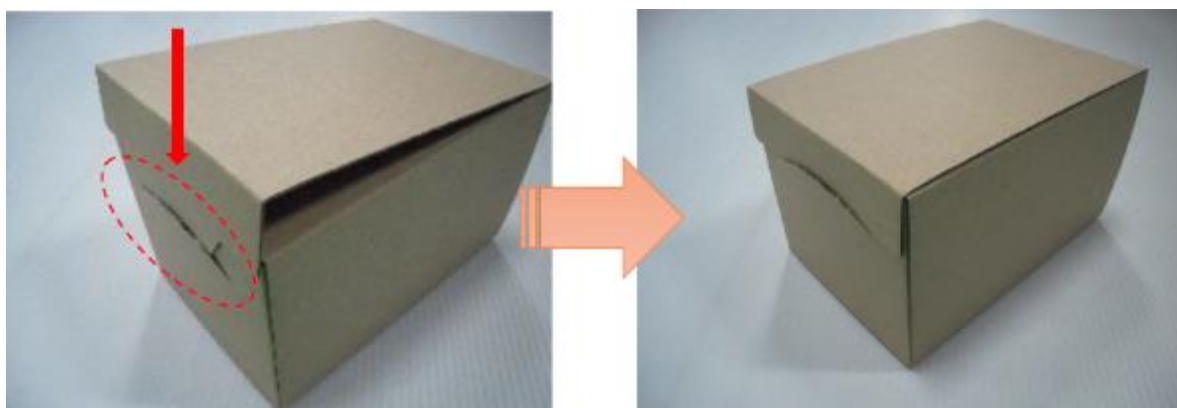
10. フラップ部分2ヶ所を内側に折り、本体の中に折り込みます。



11. 中箱の天面を本体に向かって折ります。



12. 最後に天面先端の差込み部を本体の切れ込み部に挿入して完成です。



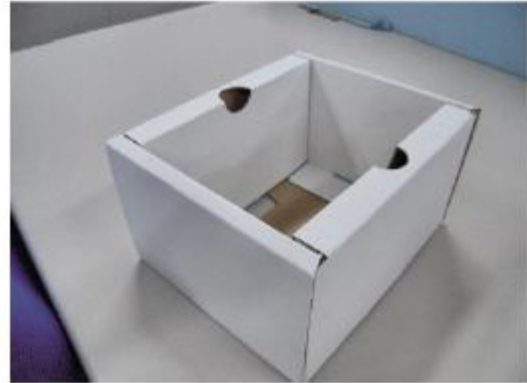
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（2）

けしうばにみ てん かいす
化粧箱身展開図

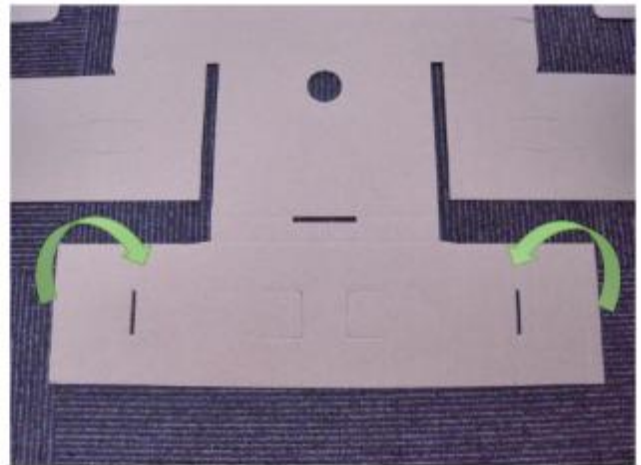
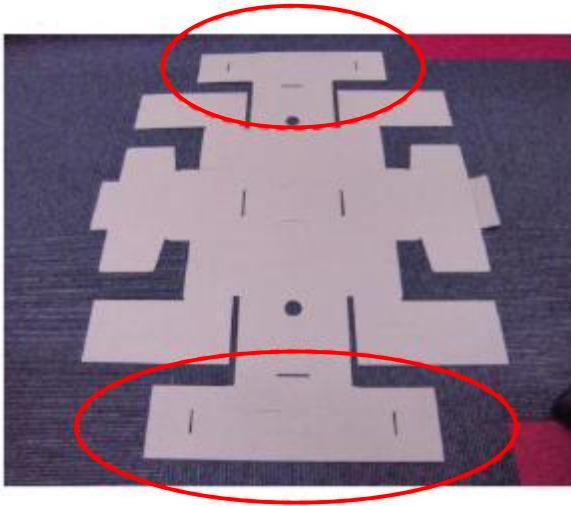


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

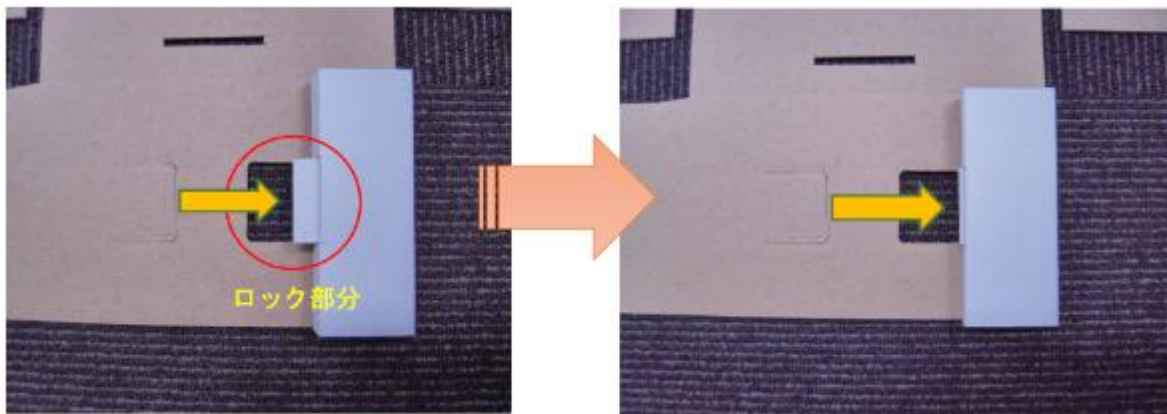
けしうばにみ かん せいす
化粧箱身完成図



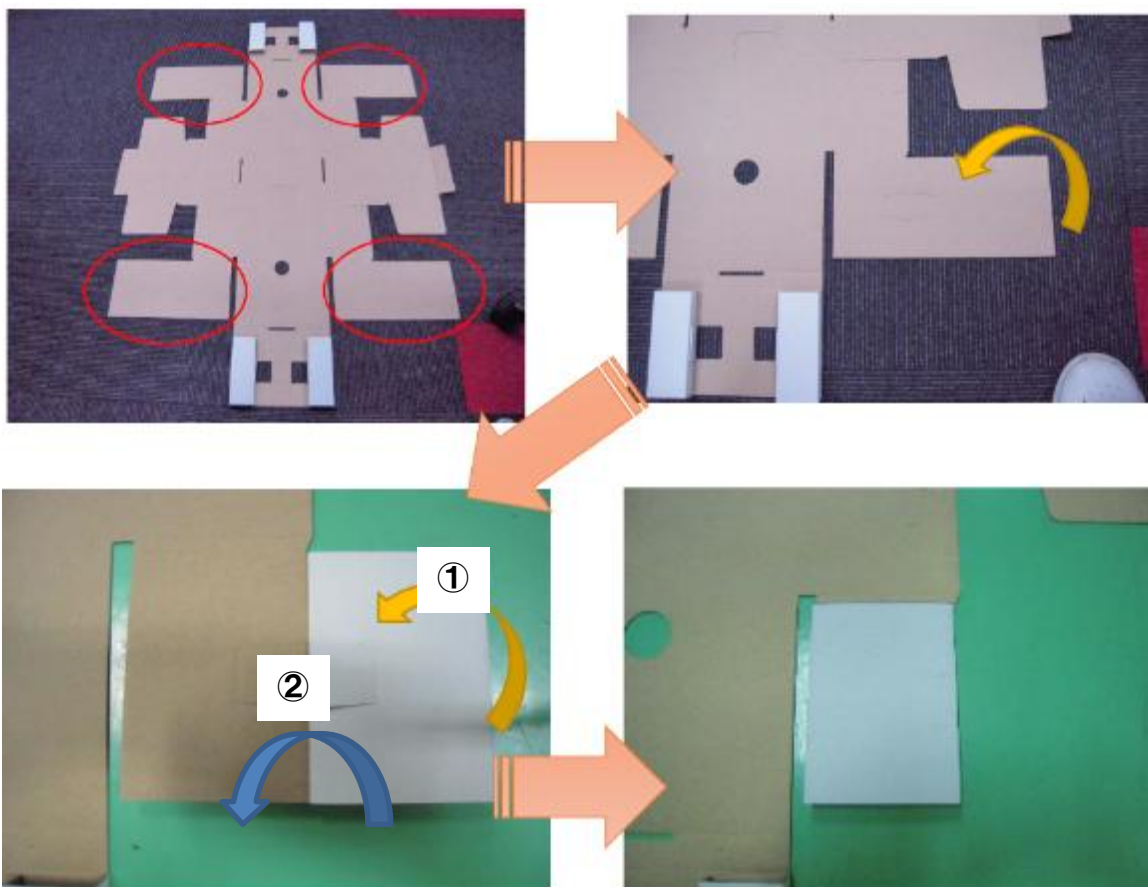
1. ○印部分を折ります。端の部分を内側に巻くように罫線を合わせて折ります。



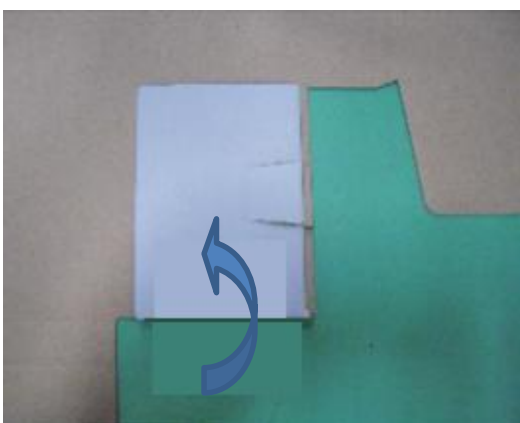
2. 折った部分の穴にロック部を下から立ち上げ差し込みます。これを計4ヶ所、同様に折ります。



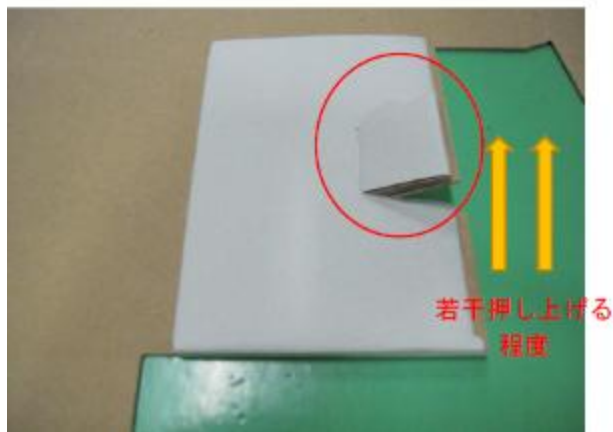
3. ○印部分を端から線に合わせて内側に折ります。



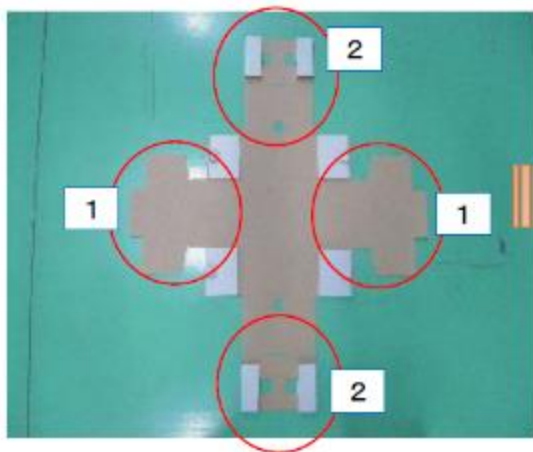
4. 下から上に折ります。



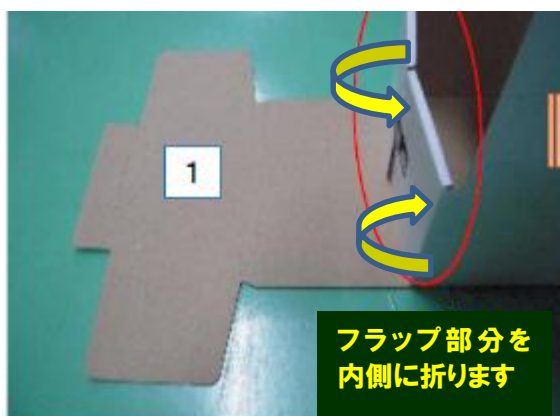
5. ロック部分を下から押し上げロックします。これを各部、計4ヶ所同様に折ります。



6. 2の部分を立ち上げます。



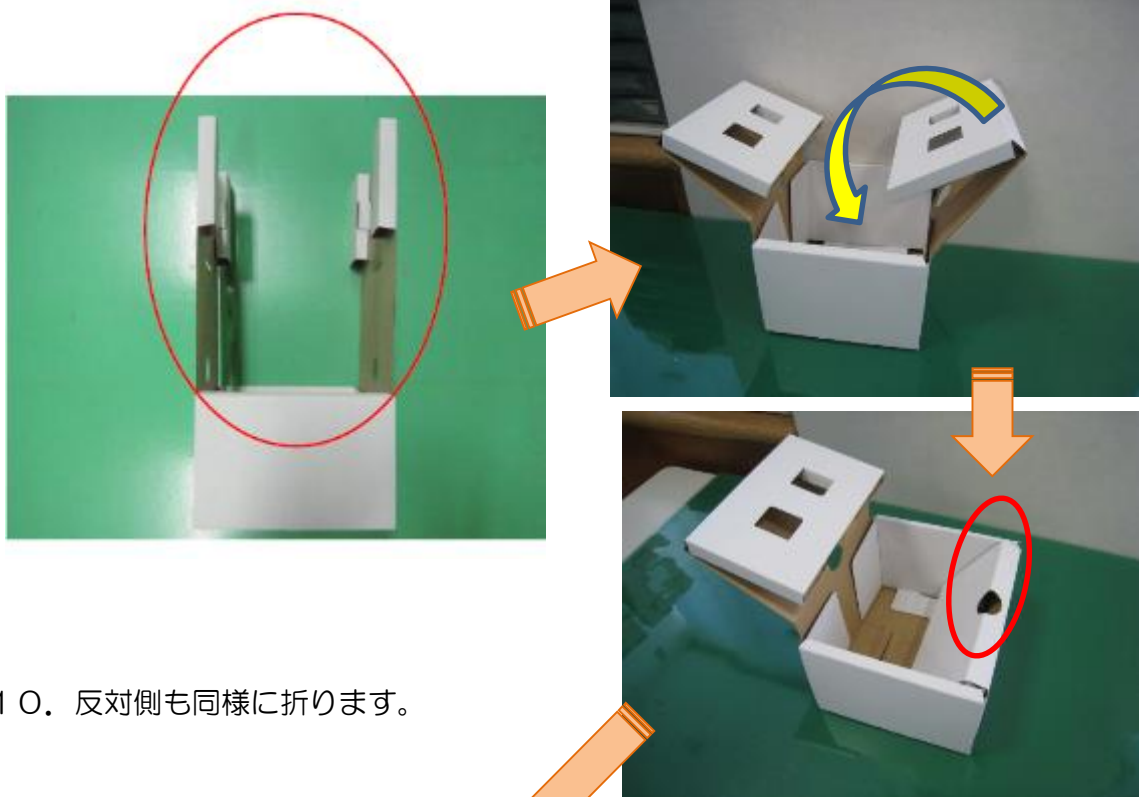
7. フラップ部分を内側に折り、1の部分を立ち上げます。



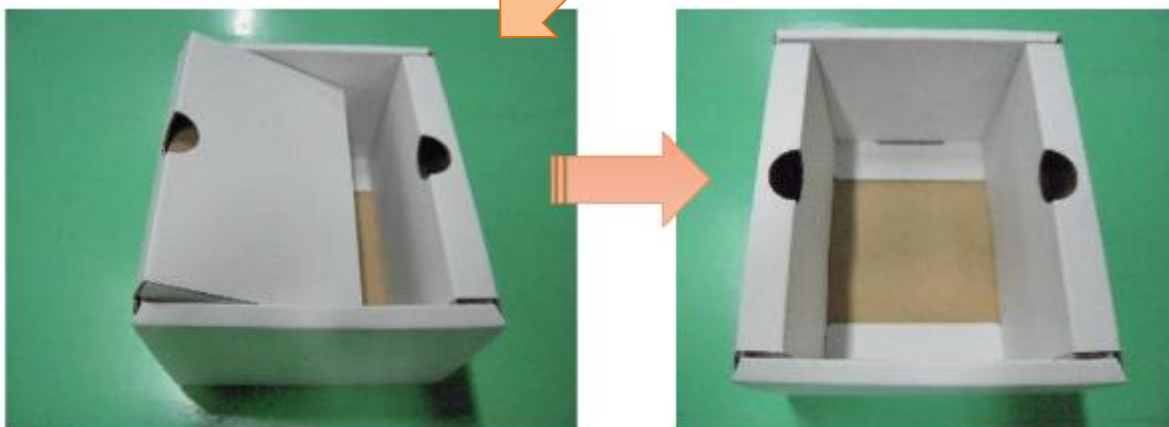
8. 1の部分の先端を外側に3ヶ所折り、本体内側に折り込みます。反対側も同様に折ります。



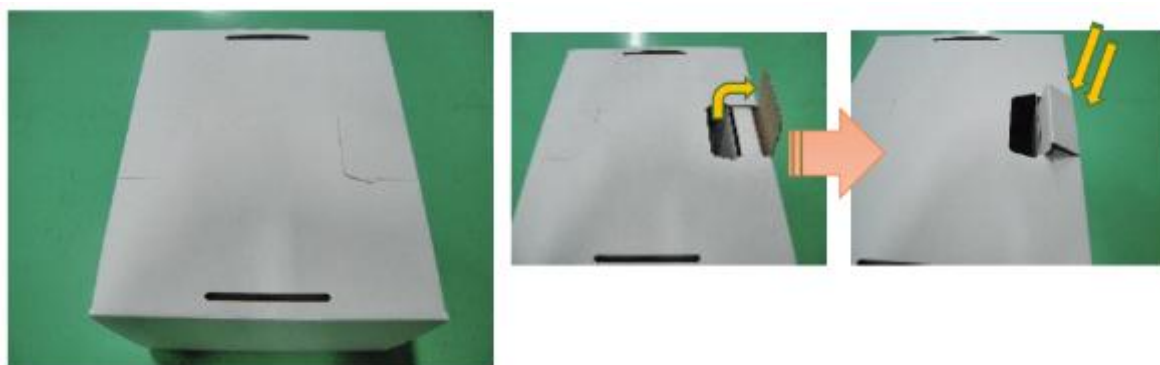
9. 2の端の部分から線に合わせて折り、額の部分が平らになるまで中に折り込みます。



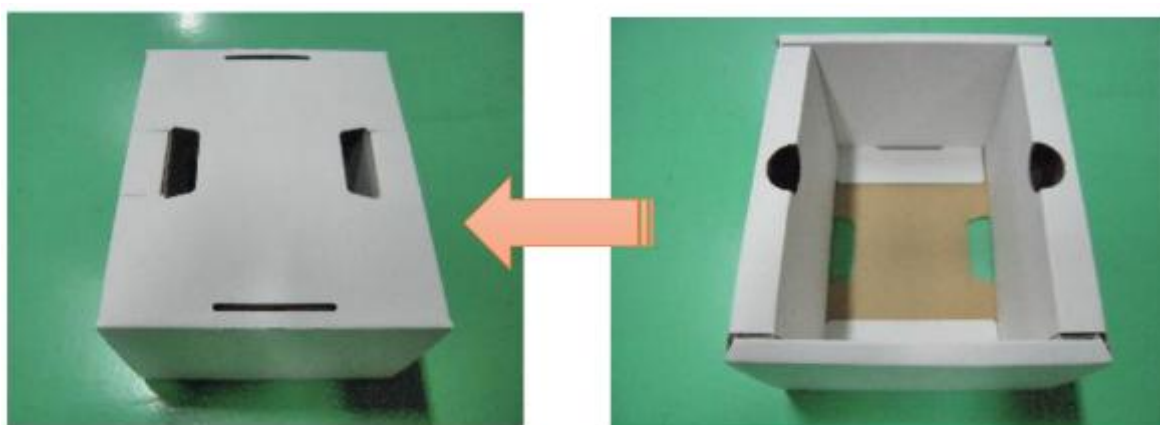
10. 反対側も同様に折ります。



- 1 1. 裏（下）側を上にして、ロック部分を裏側から押し出し、2の穴に挿入します。
反対側も同様に穴に挿入します。

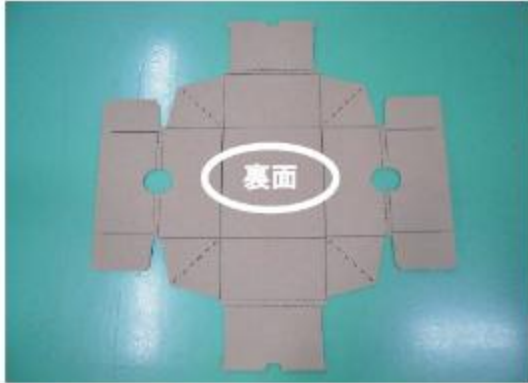


- 1 2. 2ヶ所のロックができれば、底部を下に向きを変えて完成です。



【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（3）

けしほにたてんかいず
化粧箱蓋展開図

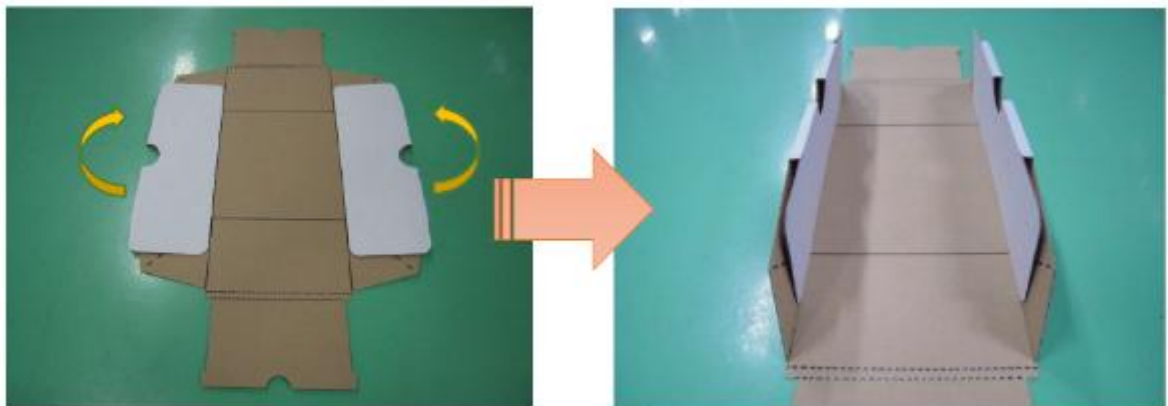


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

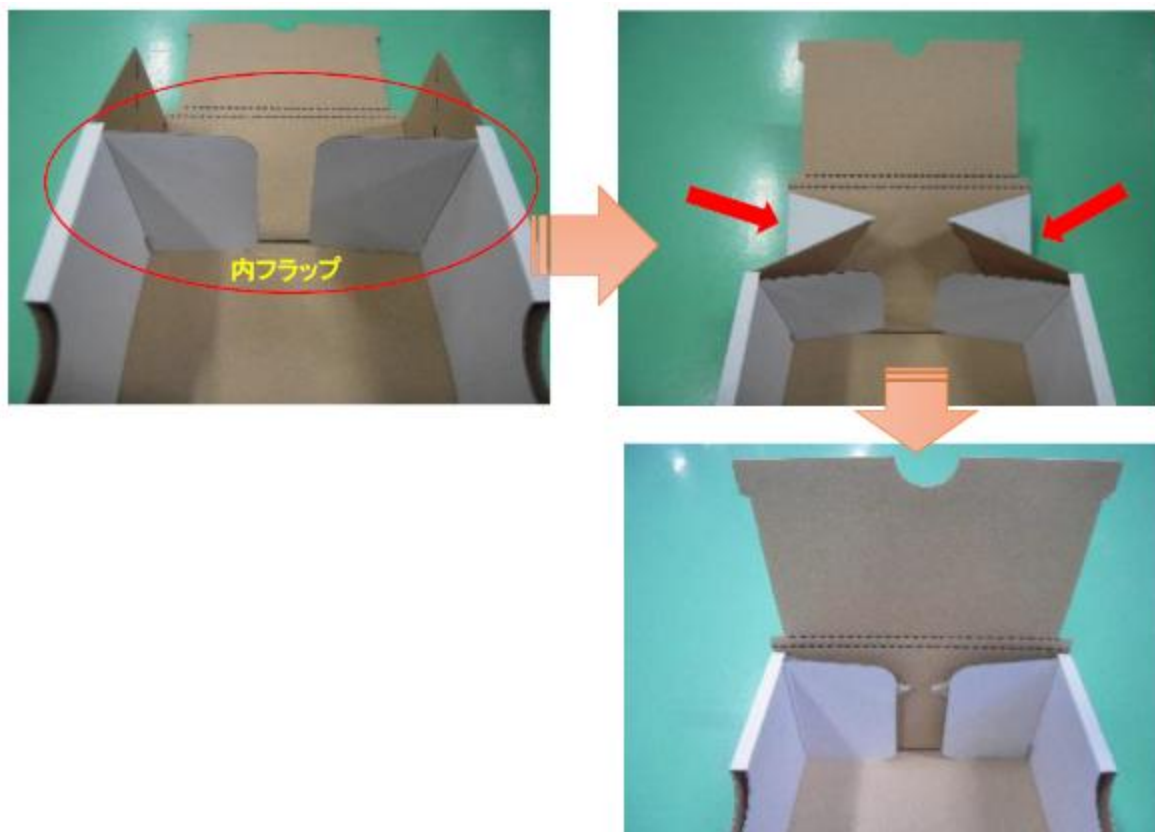
けしほにたてんかいず
化粧箱蓋完成図



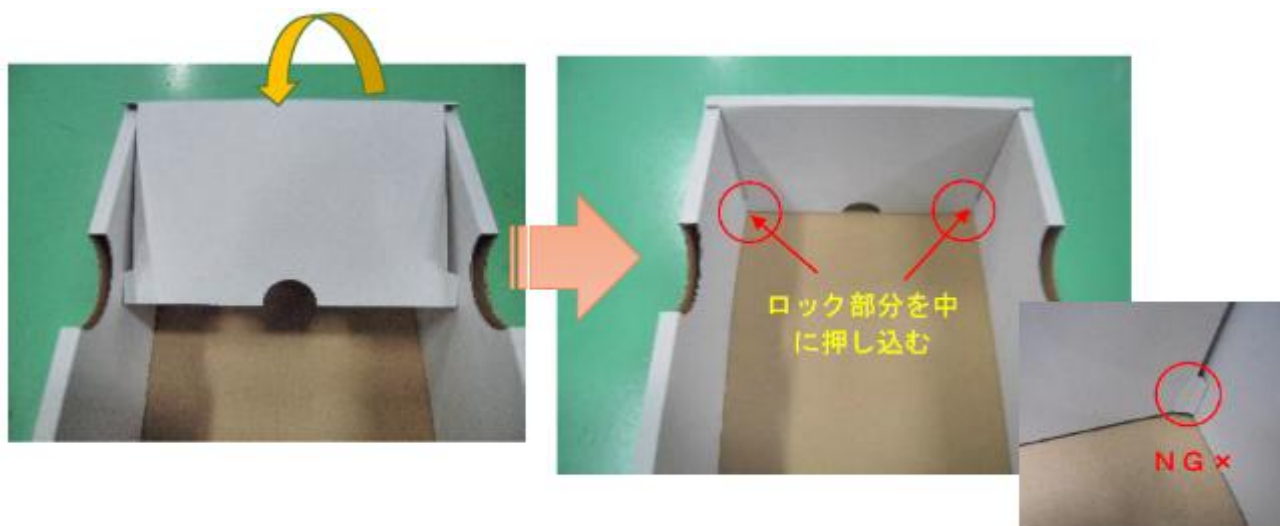
1. 額部分を内側に下り、額部分全体を立ち上げます。



2. 内フラップを内側に折ります。その後に、外側フラップのミシン目を内側に折りながら、側面を立ち上げます。



3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を中心に押し込みます。

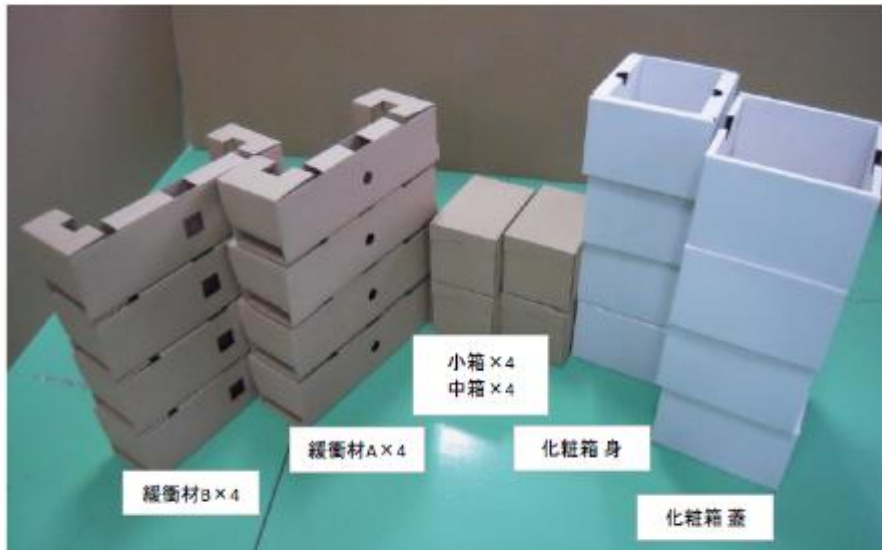


4. 反対側も同様に折り完成です。



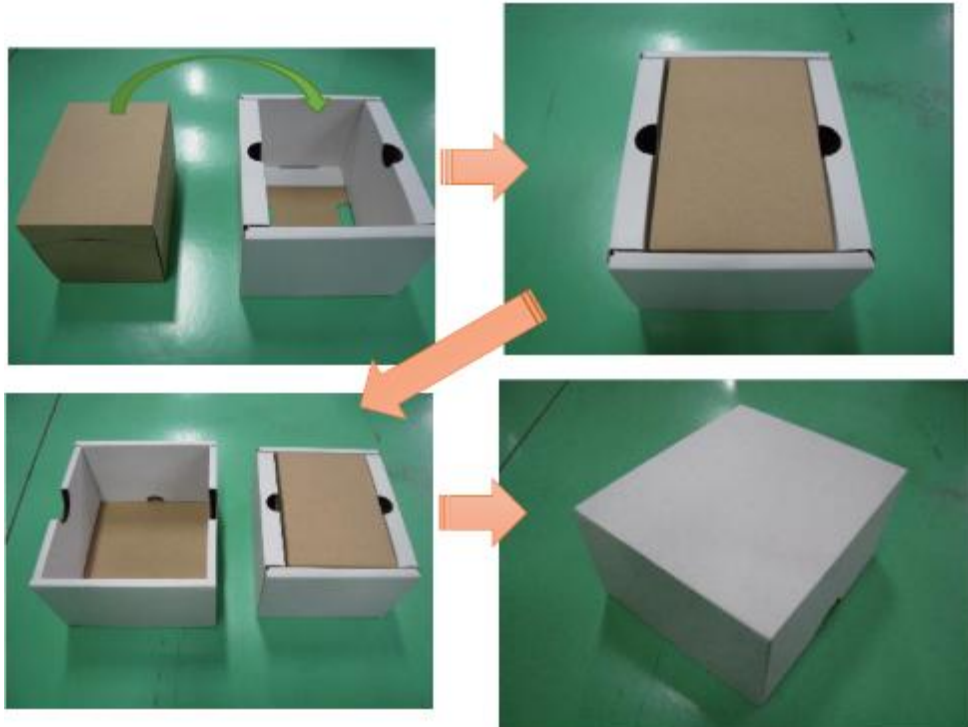
【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（4）

梱包部品一覧



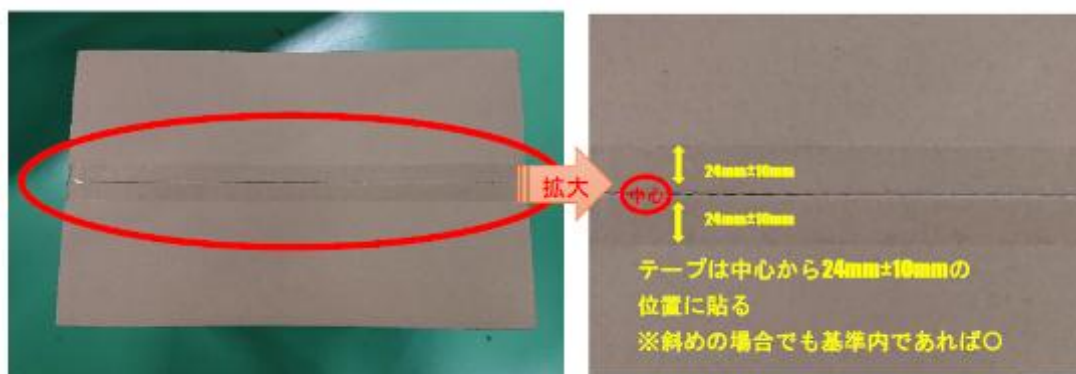
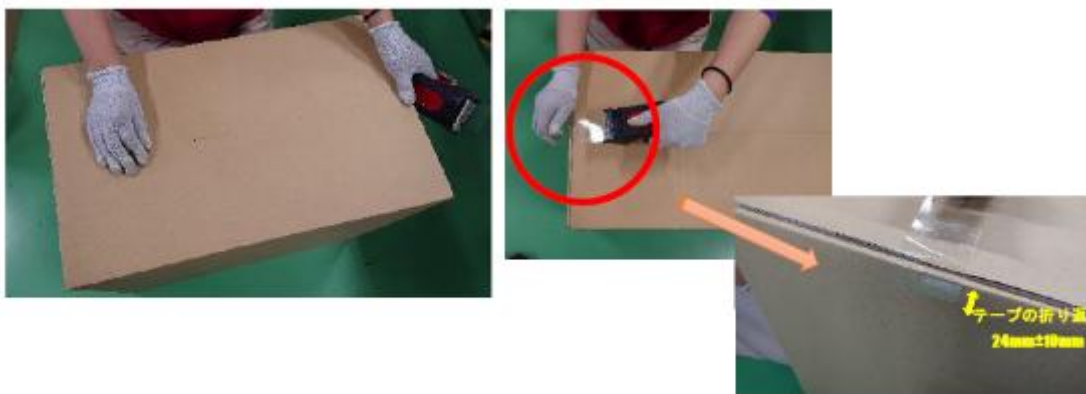
※上記部品を外箱にセットアップし梱包します

1. 化粧箱 身に小箱が入った中箱を入れて蓋をします。これを4ケース作成します。

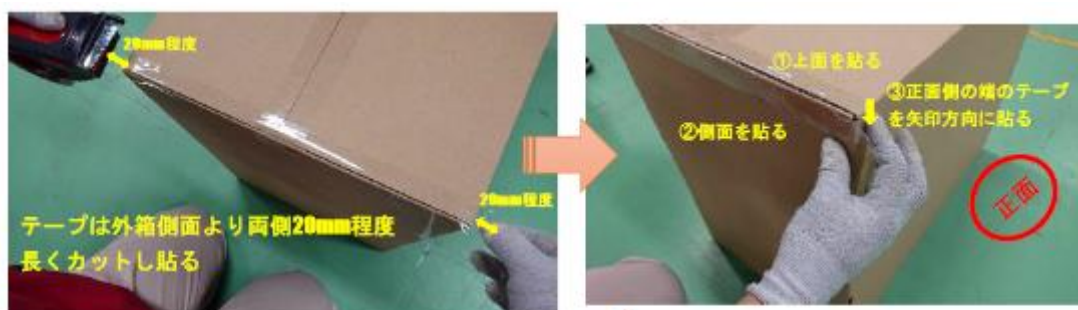


2. 外箱を組み立てて底部に包装テープを貼り封をします。

①外箱の底部を組み立て、中央部に包装テープで貼り封をします。

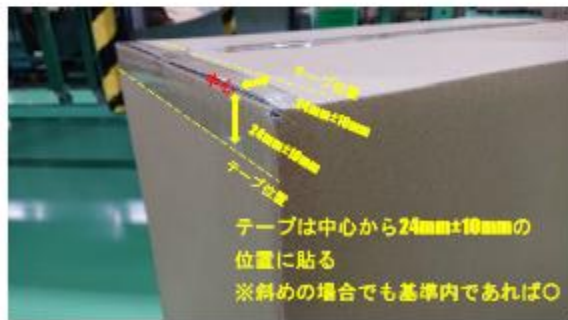
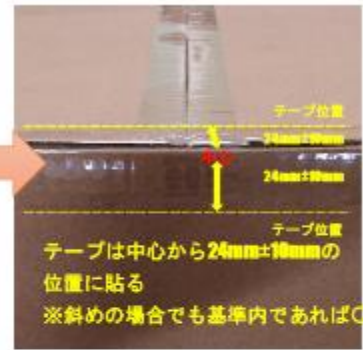


②外箱の側面側を包装テープで貼ります。





拡大



3. 底部を封じた外箱の中に緩衝材を丸穴または四角穴が外側になるように各2個ずつ設置し、化粧箱を入れます。



※緩衝材A側には化粧箱を縦に設置



※緩衝材B側には化粧箱を横に設置

4. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うようにそれぞれ設置します。



5. 外箱の上部を折り完成です。

※上部はテープを貼りません。

